

「威風堂々④～体育祭編～」

校長 江口 満



3年C組の皆さん

【前号からの続き】「ジャガイモの精神」が息づく三学年合同の宿泊研修を終え、翌週4月24日(水)は、本校伝統のスーパーウェンズデー。この日の取組は部活動紹介である。しかしただの部活動紹介ではない。各部活動生と先生方がステージ上で演じ、歌い、演奏する。まさに春の祭典、「スプリングコンサート」なのである。もう文化祭のノリである。校長通信ジャガイモNo.4「桜色②～生徒会活動・スプリングコンサート編～」で当日の写真を掲載している。

前号で、「私の心に確実に火をともしてくれた」と記したが、もうそのレベルではない。生徒の皆さんの活躍を書かすにはいられない。カメラを片手に、取材で走り回りずにおられないのである。

そして5月10日(金)体育祭結団式を経て、体育祭練習が本格的にスタートした。職員室での会話。「和田先生、本校の体育祭は何時ごろに終わるんですかね」「毎年、早くて2時。だいたい3時ぐらいですかね」「3時？ということは、お弁当の時間があるのですか?」「ありますよ。保護者の方もたくさん来られて、楽しみにされていますよ」



クラス対抗大縄跳び決勝(2年B組)

公立の小・中学校の運動会や体育祭は、コロナ禍を経て、ここ数年大きく様変わりした。子どもたちの体力面、熱中症対策など様々な要因で午前中開催が多くなってきた。3月まで勤務した中学校でも平日の午前中に開催して、給食後、片付け下校とした。それでもコロナ禍のことを考えれば、体育祭が実施できるだけでもありがたかった。

本校はというと、午前中11種目、午後10種目に分かれて行う。まず体育祭にこれだけの数の種目が存在するのか。中学校経験者の私が思いつく種目は、棒引き、旋風(ハリケーン)、大縄跳びぐらいか。中学校の学年競争遊戯は三つあれば充分だ。本校は計21種目。プログラムを見て唖ってしまった私。「そうか。なるほど。パン食い…。勝利の道ってどんな道?玉入れは逃げないだろ…」と何度も見返した。本校はまさに体育祭種目の宝庫。体育祭種目の総合デパートなのである。もし中学校現場で、学年競争遊戯の種目に迷ったら、ぜひ本校の体育祭見学を勧める。

本校はというと、午前中11種目、午後10種目に分かれて行う。まず体育祭にこれだけの数の種目が存在するのか。中学校経験者の私が思いつく種目は、棒引き、旋風(ハリケーン)、大縄跳びぐらいか。中学校の学年競争遊戯は三つあれば充分だ。本校は計21種目。プログラムを見て唖ってしまった私。「そうか。なるほど。パン食い…。勝利の道ってどんな道?玉入れは逃げないだろ…」と何度も見返した。本校はまさに体育祭種目の宝庫。体育祭種目の総合デパートなのである。もし中学校現場で、学年競争遊戯の種目に迷ったら、ぜひ本校の体育祭見学を勧める。



本校はというと、午前中11種目、午後10種目に分かれて行う。まず体育祭にこれだけの数の種目が存在するのか。中学校経験者の私が思いつく種目は、棒引き、旋風(ハリケーン)、大縄跳びぐらいか。中学校の学年競争遊戯は三つあれば充分だ。本校は計21種目。プログラムを見て唖ってしまった私。「そうか。なるほど。パン食い…。勝利の道ってどんな道?玉入れは逃げないだろ…」と何度も見返した。本校はまさに体育祭種目の宝庫。体育祭種目の総合デパートなのである。もし中学校現場で、学年競争遊戯の種目に迷ったら、ぜひ本校の体育祭見学を勧める。



クラス対抗大縄跳び決勝(3年C組)



クラス対抗大縄跳び決勝(2年C組)



【左】 仰星演舞「ソーラン節」

【体育祭編最終号に続く】

「学んだ協力することの大切さ」 3年A組 サポーター 柴中 柊志

私は今回の体育祭で、団長、副団長のサポーターを務めました。主に、団長、副団長の手が回らないとこの手伝いや、競技のスターターやソーラン節の配置決めなどを担当しました。特に苦戦したのは、ソーラン節の配置決めでした。約120名の生徒の顔と名前を一致させながら配置を決めるのが非常に難しく、時間がかかりました。

私は今回の体育祭を通して、協力することの大切さを学びました。大変なこともありました。が、団長や副団長、先生方と協力して乗り越えられたと感じています。これからも人と協力し、人を支えられるような協調性を持った人間であり続けたいです。

「感謝でいっぱいの体育祭」 3年A組 サポーター 窪園 直遵

私がサポータに回った理由は、本当に偶然で、最初は団長になりたいと思い立候補していたのですが、西川先生から団長ではなく団長のサポート役にならないかという話を受けて、サポーターになりました。初めは何をすればいいのかわからなかったり、思うように進行ができなかったりと大変でしたが、団長、副団長と共に頑張り、体育祭練習を乗り切ることができました。

体育祭本番では、大きなミスもなく最初から最後までスムーズに進行ができ、手伝ってくれた先生方や三年生はもちろんのこと、ちゃんと最後まで指示を聞いて行動してくれた一年生、二年生には感謝でいっぱいです。改めて自分がどれだけ恵まれていたのかが分かり、とてもよい体験ができました。



仰星演舞「ソーラン節」



ちょっと頼りなさそうな団長と頼りがいのある副団長。僕は体育祭を通していろいろなことを学び、思い出を得ることができました。一つ目は、「あきらめない心」です。僕が出場した騎馬戦では、練習でいつも負けていて、悔しいと思っていました。しかし本番になり皆で作戦を練って戦ったところ、三騎倒すことができ、最後の一騎にも残り勝利することができ、ほんとに最高でした。また団対抗リレーでは、一位、二位の大接戦で、団長の意地を見せてくれて「あきらめない心」を感じました。

「やっぱ赤団最高！」 2年B組 安村 樹稀

そして最高の思い出はソーラン節です。約二週間、毎日のように練習をして筋肉痛になる程、きつくて大変でした。しかし今となっては皆で教え合ったり、練習の休憩時間でも友だち同士で練習し合ったりすることで、仲が深まって行って楽しかったなと思います。来年は最高の体育祭にしたいです。

「絆が深まった体育祭」 1年C組 N. Y

体育祭を終えて私が感じたことは、最初クラスの中で色別に分かれると知って、クラスに敵ができるんだと少し複雑な気持ちになりました。体育祭の練習が始まり不安でいっぱいだったけど、先生、先輩方のアドバイスや声かけのおかげで頑張ることができました。どの競技も一人一人が全力で楽しく取り組んだり、みんなで応援したりして絆が深まりました。

大縄では声を出して、先生、先輩からのアドバイスを取り入れて、一致団結して優勝することができました。C組は運動が苦手な人が多かったので、放課後やロングホームルームを使ってバトンパスや大縄の話し合い、練習をしました。そして、運動神経より仲のよさを重視しながら体育祭に向けて頑張りました。



男女選抜・借り物競走

